

重要文化財門脇家住宅で 幻想的な世界を楽しむ

～春季一般公開～

重要文化財門脇家住宅春季一般公開が、5月3日（土）から6日（火）までの4日間行われ、県内外から約500

人の見学者が所子を訪れました。遠くは北海道からの見学者や、初めて山陰を訪れたという方も多数ありました。

6日には、所子町並み保存会記念イベントとして、門脇家の土間を会場に『詩とギターの夕べ』が行われました。詩の朗読は、本町出身の詩人・永井ますみさんと中村真

生子さんの共演で「わあだちの弥生の暮らしく祖霊のささやき・草の声」が朗読されました。

ギターは門脇康一さん（所子）で、「禁じられた遊び」「貝殻節」など5曲が演奏されました。

古民家の趣きと静寂の中に響きわたる朗読や演奏は、会場を幻想的な雰囲気包み込み、来場者は心静かに聴き入っていました。



朗読に耳を傾ける来場者



ギターの音色が響きました

丹精込めた逸品がずらり

春の山野草・盆栽・えびね展

大山公民館高麗分館と所子分館で「春の山野草・盆栽展」が4月27・28日に、また名和公民館で「えびねと山野草展」が5月7・9日に行われました。

今年も各公民館の同好会の皆さんが丹精込めて育てられた自慢の山野草や盆栽が会場に展示されました。

所子分館と高麗分館では、草花の即売も大盛況で、町内外から大勢の愛好者が会場に訪れて、にぎわいました。



山野草と盆栽（天山公民館高麗分館）



えびねと山野草（名和公民館）



▲説明にも力が入って（大山公民館所子分館）